

# MANY

## NO.438

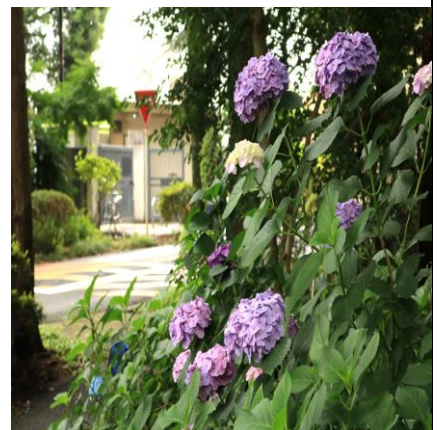
令和2年6月25日(毎月第2・4週配信)MANY(Morality Active Network of Youth)

モラロジー青年活動ネットワーク メールマガジン

### 梅雨の風物詩！ 園内のアジサイが咲きました

園内ではいろんな場所でアジサイが咲いています。東門からセンターにかけての道や、総合受付センター本館までの環状道路にはピンクや紫の花が咲いています。

雨の似合う花、アジサイは日本生まれの花で、中国を経てヨーロッパに渡り、あちらこちらで品種改良が行われました。そして今や日本に逆輸入されるようになりました。



アジサイの色ごとの花言葉は、「青＝辛抱強い愛情」「ピンク＝元気な女性」「白＝寛容」です。花言葉からも母の日の贈り物には、ピンクのあじさいが好んで贈られています。また、日本人にはあじさいに「仲良し」や「家族団らん」のイメージを抱いている方が多いようです。皆さんはどんな印象をお持ちですか？

実はアジサイの花は土壌の成分により花の色が変わるといわれています。酸性が強いと藍紫色になり、アルカリ性が強いと紅色が咲くそうです。ここは酸性？、アルカリ性？と見ていくのも面白いのではないのでしょうか。

他にもいろいろな発見があると思いますので、興味がある方はぜひ調べてみてください。

## 10月より概論・論文講座を再開！！

しばらく休止しておりました本部講座が、10月から再開します。皆さまが安心してご受講いただけますよう、3密(密集・密閉・密接)の回避はもちろん、徹底した感染防止対策をして皆様をお迎えいたします。

特に、宿泊に関する不安を解消するため、国や自治体などのガイドラインを踏まえつつ、生涯学習センター研修寮では、生活のルールを独自につくるなど感染防止対策を講じていきます。身近な事務所メンバーや、ご夫婦・ご家族と一緒にご受講いただくことで、より安心していただけるのではないのでしょうか？ 私たちも、秋に皆様にお会いできることをとても楽しみにしております。

詳細は維持員ネットで掲載しています。<http://moralogy.net/>



## 関東学生研究会 対面ミーティング再開！

先週、学研のミーティングを行いました。約2ヶ月ぶりの対面ミーティングでした。ソーシャルディスタンスを意識して距離を取り、遠方の人たちはオンラインを使い会議に参加しました。久しぶりの対面ミーティングに学生たちは楽しい時間を過ごすことができました。



そして、今年は夏に行く予定だった大学生対象セミナーを3月に延期し、高校生セミナーと連続して開催することになりました。

初めてのことに臆することなく挑戦しつづける学生研究会。これからもスタッフ全員で目標に向かって、一致団結して頑張っていきます。大学生、高校生をぜひご紹介ください。

## 東北ブロックオンライン会議！開催前に山形県青年は対面会議を開催！

先週の6月19日に山形県青年会議が開催されました。一人ひとつのテーブルと距離を取っての対面式会議です。久しぶりに直接顔をあわせての会議は、全国青年大会in東北や創立100周年に向けて話し合



いました。これは、後日開催する東北ブロック全体の青年会議に向けて山形県としての意見をまとめるために行われました。他の各県もブロック会議に向けて意見をとりまとめていました。



そして、6月21日には東北ブロックのオンライン会議が行われました。各県や事務所の様子、各県で話し合ってきた全国青年大会、創立100周年などについて、各県がまとめてきたワークシートを使って、活動の歩みを止めることなく、どのように繋いでいくか協議し

ました。

東北のように、オンライン会議やソーシャルディスタンスをとっての対面会議など工夫をしているかと思えます。皆様の声や活動内容を全国の仲間に向けていきますので、ぜひ青年育成課へご連絡ください。

## 私たちの幸せには道徳が欠かせない

### ～モラロジーに学ぶ青年とつくる未来～

モラロジーネットにて配信された廣池理事長メッセージをご覧くださいかと思えます。『所報』7月号にも掲載されていますが、いよいよ創立100周年に向けて動き出します。私たち青年が本格的に未来をつくっていく時期が来ています。

## 経済生活は信用で成り立っている

緊急事態宣言の解除、そして都道府県をまたいだ移動自粛解禁によって初の週末を迎えました。各地で観光・旅行者が増え、回復の兆しが見え始めました。日本が新型コロナウイルスの感染防止と経済活動の両立(with コロナ)に向けて新たな一步を踏み出したわけです。私の日常も、キャッシュレス化が進み、現金をほとんど扱わなくなりました。こんな状況をよくよく考えてみると、お金(経済)って信用なしには成り立っていないことに気がつきます。私たちは、スーパーでの買い物のあと、すぐに店員が不正していないか、レシートを見て間違いさがしをしたり、お釣りを目の前でチ

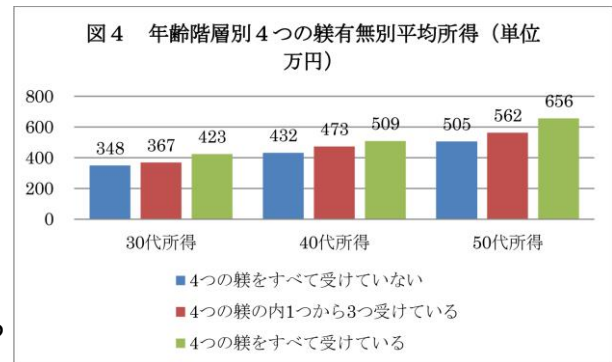
エックして財布にしまうことを日常にしてないことからわかります。

## 基本的モラルが社会的成功へ導く

この信用が重要であれば、高い道徳心を持った人は、価値が高いと考えてもよいのではないのでしょうか。

数年ほど前、京都大学の西村和雄特任教授らの行った調査研究で、子供の頃になされた躰(4つの基本的なモラル)が、成人後の労働所得に大きな影響を与えていると発表されました。

その4つの基本的なモラルとは、「うそをついてはいけない」、「他人に親切にする」、「ルールを守る」、「勉強をする」です。この4つの基本的なモラルの躰をすべて受けた人と、一つでも欠けた人との間での所得(年収)比較を行うと約64万円の差があり、さらに、すべて受けていない人との差は、約86万円あるそうです。



グラフは、年代別(20~40代)でも差があきらかであることを示しています。またこの研究では、4つの躰を受けた人は社会性の高い価値判断をする傾向にあることも示されました。

道徳や規範は、子供のころにいかにつけて、身につけるかが大きなポイントになってくるといえますし、親だけでなく、私たち大人の責任は非常に大きいといえます。同時に、子供に躰をする側(親)の動機、目的、そして「心づかい」と「行い」が大切になってきます。そこで、モラロジーの出番になると思います。

## 『れいろう』に学ぶ幸福と道徳

平成31年2月号『れいろう』特集「幸福と道徳」で研究所の顧問 松浦勝次郎先生の記事に学んで行きたいと思います。そこには、普通道徳は、よいことをするその動機、目的の根本に自己本位の好みや損得、利益がはたらいっていることが多いということです。

一方で、最高道徳は、自分がしたことの結果を要求しないため、行ったことの結果が思うようでなくても、最高道徳だと挫折することがないとして、次のようにお話しされました。



「子供を育てることも、自分の子供がかわいいから育てるというだけでなく、自分が親から育ててい

ただいたことへの恩返しとしてできることです。いただいた恩を、親に全部返すことはできません。だからその大きな恩を、子供を大切に育てることを通して、親に恩返しをさせていただく。その発想は、日々の生活においても仕事でもどんな場においても、生かすことができます。」と。

### 私たちに幸せになる使命がある

そして最後に松浦先生は、このようにまとめられました。「人間は誰もが幸せになる使命があります。“私”は私が生み出しただけではありません。私を生みだしてくれた存在も育てくれた存在も皆、私たちが幸せになるために人間として必要なものをすべて与えてくださり、この世に存在させてくださっているわけです。幸せの本質を正しく知って幸せになることは、単なる自分の欲でも個人的なことでもなく、全体にとっての大事な使命を果たすことになるのです。自分が不幸になるのは周囲を不幸にすることになります。自分が幸福になるということは家族を幸福にし、仲間を幸福にしさらには社会、国家、人類をも幸せにしていくことなのです。」と。

### 私たちの幸せは伝染していく

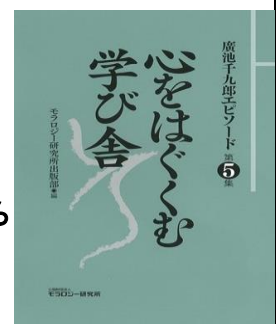
ハーバード大学が行った1万2千人以上を対象に30年以上をかけて導き出した、「自分が幸せになると周囲を幸せにする」という調査結果があります。

それは、個人が幸せでいると、その人が日常に接している家族や友達の幸福度は15%上昇し、「友達の友達」の幸福度は10%、友達の友達の友達の幸福度は6%上昇するというものです。これは消費税以上の効果だと思いませんか！？

### 心づかい一つで使命を果たす

最後に、廣池千九郎博士の最晩年から40年以上、谷川の地を守ってきた鷲津邦正氏の言葉を紹介します。

「人間に与えられたたった一つの自由は、その精神の持ち方なのです。心づかい一つで道徳が行えるのです。これなら誰でもできます。私は暇がないからできません、私はサラリーマンだからできませんとは言えないはずです。



しかも、これは電車の中でも寝ていても取り組めるのです。そして1日24時間、絶えずこのことを脳裏から離さないようにして、だんだん修練を積んで行かなければ、慈悲というものは出てこないのです。この心のできた人にとっては、すべてが最高道徳となり、慈悲になるのです。」

諸先輩方から託されたメッセージをしっかり噛みしめて、心づかい一つで幸せな未来を、青年の皆様とつくっていき、創立100周年を迎えたいと思います。

**【お知らせ】**

次号は、令和 2 年 7 月 8 日です

基本的に毎月第 2、4 週配信！

活動情報、ご意見、ご感想など声をお聞かせください。

**MANY 事務局へ**

**[発行・編集]**

公益財団法人モラロジー研究所 青年育成課

(<https://www.facebook.com/moralogy.many>)

住所:〒277-8654 千葉県柏市光ヶ丘 2-1-1

**[TEL:04-7173-3312](tel:04-7173-3312)** FAX:04-7173-3259

※掲載記事の無断での転載、再配布はお断りいたします。事務局までご一報ください。